

zero carbon ▶ 2050



久御山町 環境政策プロモーション業務



K U M I Y A M A

目次

1	久御山町環境政策プロモーションに向けて	1
(1)	「価値共創型」シティプロモーションの推進	1
(2)	3ヵ年での環境ブランド構築に向けた展開	2
2	具体的業務内容の提案	3
(1)	久御山町ブランドの種づくり・人材づくり	3
(2)	環境施策の推進主体となるコアメンバーづくり	7
(3)	環境ブランドの周知・PR	9
(4)	本業務のスケジュール（業務フロー）	12
	実績、体制	12
(1)	環境計画、プロモーション 実績	12
(2)	業務執行体制及び役割分担	13

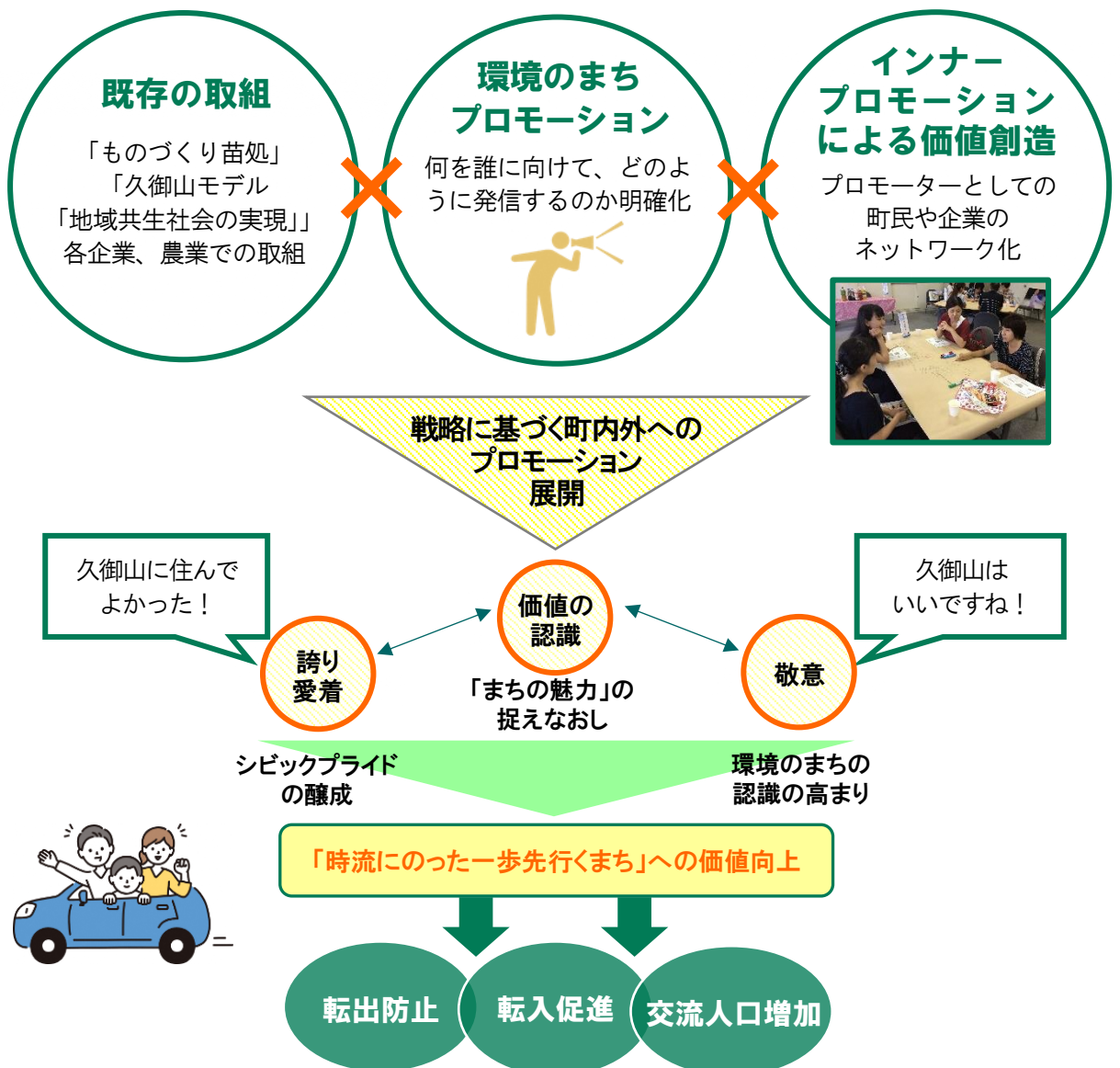
1 久御山町環境政策プロモーションに向けて

(1) 「価値共創型」シティプロモーションの推進

本事業は数年かけて「久御山町を**環境ブランド力の高いまち**」として町内外に認知してもらい、そのことが住民のシビックプライドの醸成やまちの魅力の向上はもとより、稼ぐ力の向上や関係人口の増加など、まちの発展にもつながることを見据えたプロモーション業務になることが望ましいと考えます。

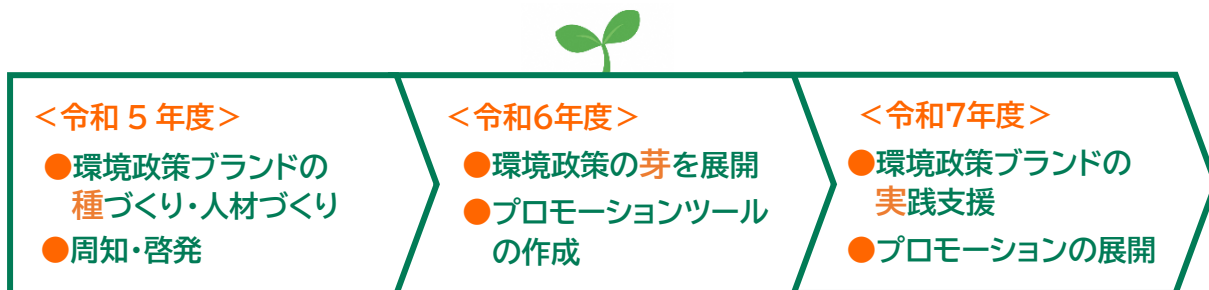
そのために、まず本年度はプロモーションするための**種づくり**とそれに**関わる人づくり**を進め、魅力的で一步進んだ**久御山町らしい環境価値**を住民、事業所、行政が一体的となり創り上げることが支援をしてまいります。

一過性のプロモーションにしない取組



(2) 3 ヶ年での環境ブランド構築に向けた展開

プロモーションの推進に際しては、事務局様をはじめ、本事業で構築予定のコアメンバー（推進主体人材）とも話し合いながら展開させていく事をご提案します。



～ 久御山町＝環境ブランド力の高いまちへのイメージ案 ～

<久御山ブランド化 環境価値の創造（案）>



- 脱炭素農産物ブランド…(ソーラーシェアリングなど)
- 脱炭素住宅街…(ZEH、太陽光発電の住街区)(住宅展示場とコラボ)
- 脱炭素ものづくり…(目玉の創出、ドローン等)
- 脱炭素商業地域…(イオンとコラボ)
- 歩くまち・サイクルのまち
- EV・FCV や充電器の普及率 No.1



<重点ブランド化（案）>

●脱炭素農産物ブランド

カーボンニュートラルが世界的な潮流の中、脱炭素によって生まれた商品には付加価値がついてくる。いずれは、それが当たり前となってくると考えられる。いち早く、「脱炭素でできたクリーンな農作物」のイメージを獲得する必要がある。



(ソーラーシェアリング)

●住宅展示場とカーボンゼロハウスのコラボ

町内にある住宅展示場と電機メーカー、町とのコラボにより、「ゼロエネルギーハウス(ZEH)」の住宅展示場を展開。さらに、EV(電気自動車)やFCV(電池自動車)ともコラボをひろげ、未来の暮らし方がイメージできる場所を久御山につくる。また、イベントとして、そのような暮らし方をしている久御山町民の実体験を聞けるようなイベントを定期的で開催する。

①需給一体型ZEHモデル(次世代ZEH+)のイメージ



(ゼロエネルギーハウス)



2 具体的業務内容の提案

(1) 久御山町ブランドの種づくり・人材づくり

① 町内事業者・農業者へのヒアリング調査の実施

町内事業者・農業者へのヒアリングの意図としては、「ものづくりのまち」と「脱炭素」を組み合わせることで、**久御山町ならではの環境ブランドにつなげるきっかけづくり**のためと捉えています。

あらかじめ、事務局様と今後の「ものづくりのまちにおける脱炭素ブランド」のイメージを想定したうえで、意欲のある事業者・農業者に対し、取組状況、取組意向をヒアリングします。併せて学ぶ機会づくりを検討します。

▼ヒアリング内容(案)

農業者：実施時期 8～9月

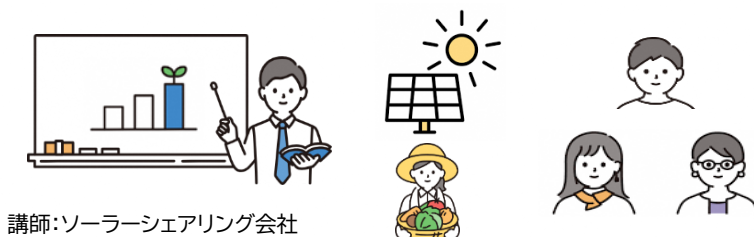
- 脱炭素な農業を実施している、または意欲のある農業者の情報収集(担当課・JA・営農指導員等)



- ヒアリング調査 5～6者 2日間 程度
・再エネ設備導入の状況・カーボンニュートラルの取組 等

当社独自企画(次年度)

- 『ソーラーシェアリング勉強会の開催』
- ヒア対象者に対しては直接連絡、広く全般には広報で『ソーラーシェアリング勉強会』として開催のお知らせ



講師:ソーラーシェアリング会社

農業を担う
若者に積極的に
参加してもらおう

- 勉強会後に情報交換会の実施

くみやま
環境配慮
マーク作成



ソーラー
シェアリン
グ挑戦!

町内事業者：実施時期 8～9月

- 脱炭素・カーボンニュートラルに積極的に取り組んでいる事業所の情報収集(担当課・商工会等)



- ヒアリング調査 6～8社 2日間 程度
・再エネ設備導入の状況・カーボンニュートラルに関して 等

当社独自提案

- カーボンニュートラルに取り組む町内事業所・情報交換発表会の実施
・各事業所 10 分程度、会社の取り組みを発表頂く (6 社程度)
・参加して頂いた業者の情報を広報 等で PR する



情報共有

コラボ企画




情報交換会(ワークショップ)で
カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」
を実施 も検討





- 参加業者とは引き続きまちとしてつながりを持つ
(エネマネ会社設立時の協力関係づくり)


「ものづくりのまちにおける脱炭素ブランド」× 久御山町事業所一覧


 ステンレスインテリア工房
藤本製作所


 コスモ機器(株)

 (有)義定刃物


 KTC 京都機械工具(株)

 (株)ユー・エム・アイ

 (有)コーワレーザー


 イーコット(株)


 京都樹脂精工(株)


 ニューリー(株)

 (株)マツダ


 洛陽技研(株)


 フジモト運輸(株)

 (株)シオガイ精機

 洛陽化成(株)

 コタ(株)

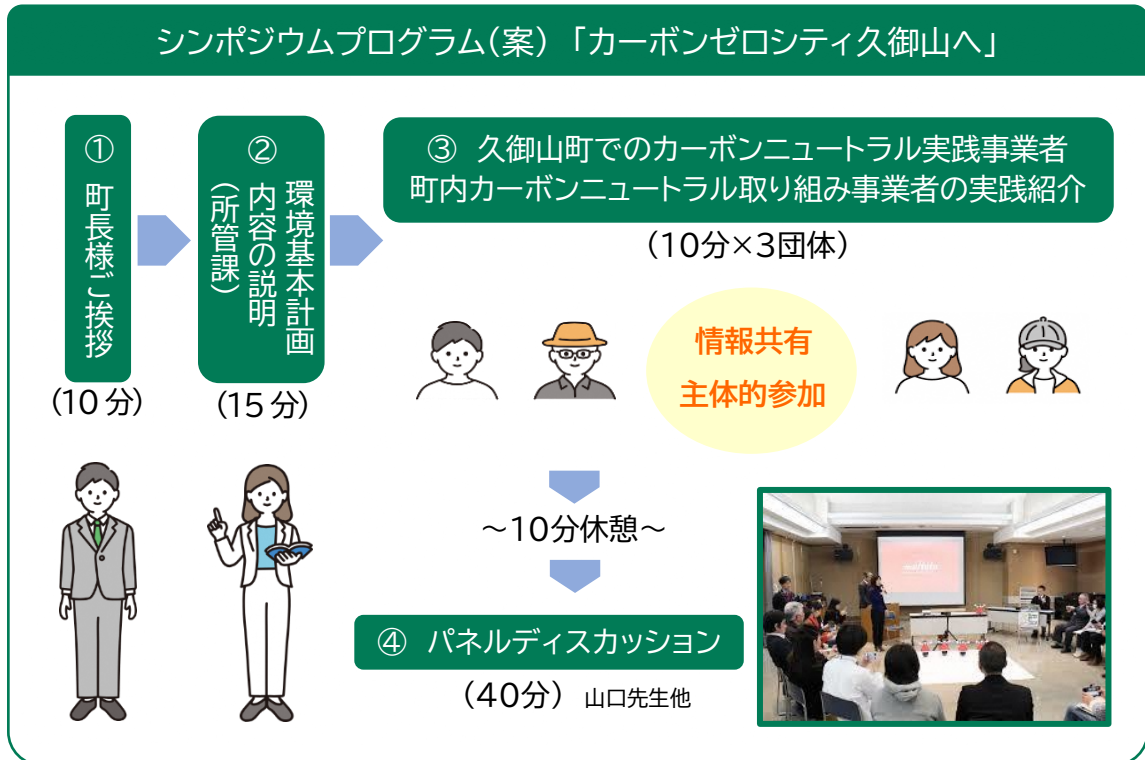
 (株)サンセイ

 コカ・コーラボトラーズ
ジャパン(株)京都工場

②スタートアップシンポジウムの開催

久御山町が進めるカーボンニュートラルに向けたまちづくりを広く周知するとともに、スタートアップの位置づけとしてシンポジウムを開催します。実施自体が、**周知・情報共有の場であると同時に、参加者の「主体的参加」によるステークホルダーづくり**と位置づけ実施します。

▼シンポジウムの開催内容(案)



▼当日の役割分担内容(案)

	事務局	弊社
時期・場所	令和5年度 10～11月頃予定	久御山町庁舎内会議室 (定員210名)
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報・周知 ● チラシ印刷 ● 事前申し込み受付業務 ● パネルディスカッション講壇者調整 ● 内部調整 	<ul style="list-style-type: none"> ● 企画・構成 ● 広報用データ作成 ● チラシデータの作成 ● 事例発表者調整 ● 計画説明資料作成
当日運営	<ul style="list-style-type: none"> ● 会場準備 ● アテンド(パネルディスカッション) ● 進行(司会) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 会場準備 ● アテンド(町内事業所) ● 受付

■シンポジウムの当社事例

<加西市、姫路市等5市町 空がつなく まち・ひとづくり事業>



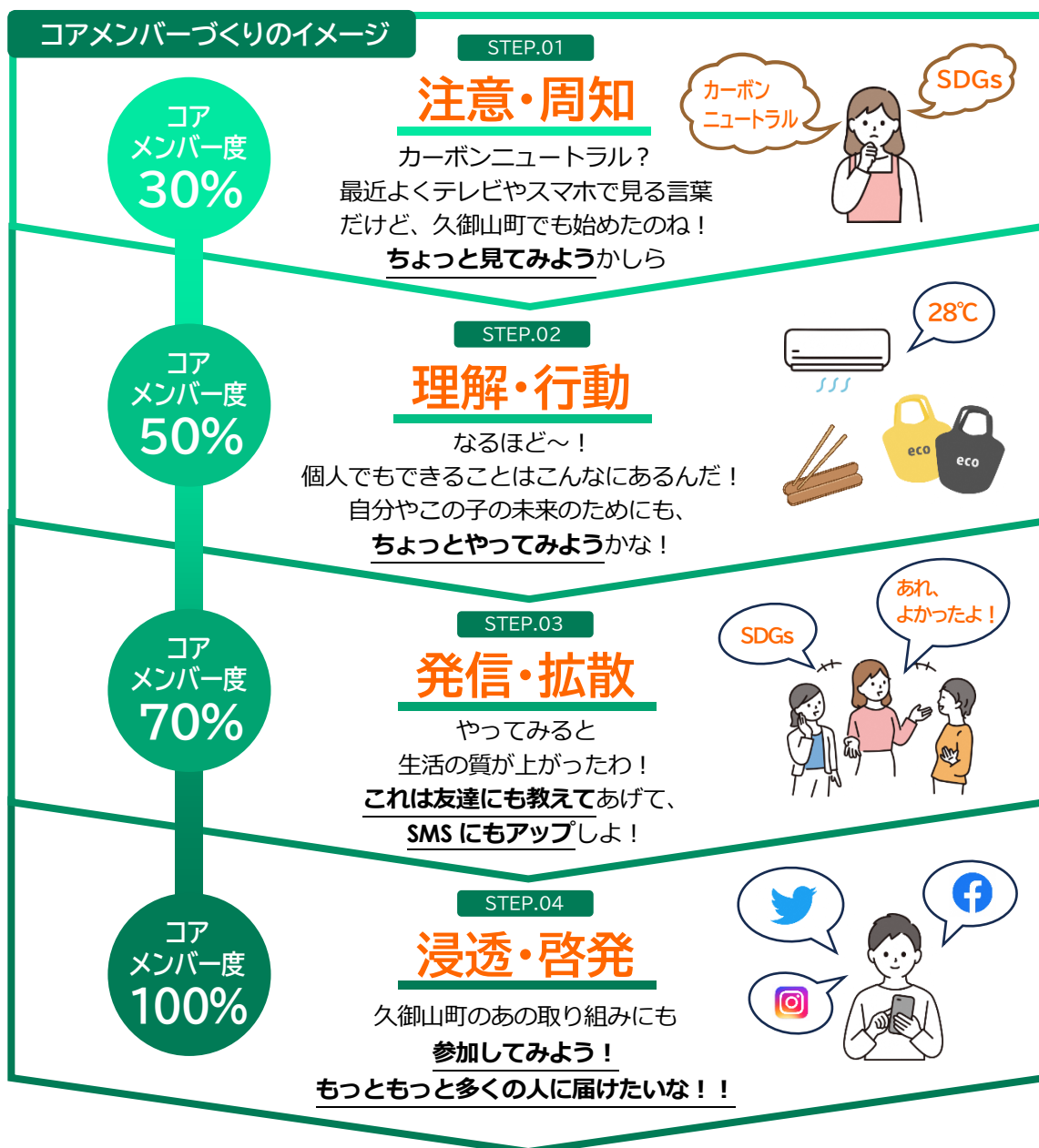
<京都府・京都市 京都文化カプロジェクト>



2) 環境施策の推進主体となるコアメンバーづくり

ゼロカーボン達成のためには、地域住民の主体的な関わりが不可欠なため、コアに活動する組織（コアメンバー）を立ち上げます。

今後の脱炭素による暮らし方や久御山環境政策の情報発信等を担い、プロモーション活動の核となる組織となります。



推進主体となるサポーターの育成

環境をハード面からのアプローチだけではなく、同時並行で「人の心」の整備も実行し、人から人へ、持続的な脱炭素行動の仕組みづくりを作っていきます。

メンバーづくり

※メンバーは5~10人程度を予定

- シンポジウムやワークショップ等の機会を通じてメンバー募集
- 年齢層や性別に偏りがないよう調整します。
- 3回のワークショップを通じて、メンバーを昇華させていきます。



ワークショップ テーマ:久御山町らしい環境ブランドの種づくり

1回目 カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」を活用

ゲーム感覚でゼロカーボンを疑似体験できる「カードゲーム型ワークショップ」。ゲームのプレイヤーは様々な組織(企業や行政)の役割をロールプレイします。

※全国的に展開されている WS ですが当社もライセンスを取得予定です。



～各会 20名程度～

2回目 環境ブランドの種を集めよう!



- ・久御山らしい環境ブランドの種の提示
- ・プロモーション視点での種の検討



3回目 種を磨き上げよう!

- ・環境ブランドとなりうる種を具体的に検討



取りまとめる



※12月～2月の間で全3回で開催

ファシリテーター(案)



中村 洋司 (なかむら ようじ)

主任研究員／総務省 地域力創造アドバイザー

都道府県及び全国地方公共団体に関する各種調査及び各種計画策定業務のほか、ワークショップ(ファシリテーター)、研修・講座の実施、会議運営等に携わる。50を超える自治体で、延べ100を超える多種多様なワークショップを展開。また、総合計画を策定する自治体を対象としてSDGsの理念を理解する研修も実施している。

(3) 環境ブランドの周知・PR

①環境ブランド化を推進するPRロゴ及び啓発品の作成

PR ロゴの確定手順につきましては、以下のような事例があります。この中から久御山町様で最も適切な形式を選び、進めることとします。

■シンボルマークの決定プロセスの形式事例

①公募型

広く住民に公募で案を募り、良質の案を事務局含む会議形式で決定するプロセス。

※公募～決定まで、手間と時間を要する

②投票型

事務局などで、3つ程度の案に絞り、住民に最終案を投票してもらうプロセス。

※投票に時間を要する。また意向にそわない場合もある

③事務局主導型

事務局で複数案を作成し、トップの意向を含めて決定するプロセス。

※最もスムーズで意向が反映される。住民意向が課題

■シンボルマークの当社の制作事例

社内にデザイン部門を有しており、全国のさまざまな地方自治体において、シンボルマーク（ロゴデザイン）の実績を有しています。作成プロセスから住民を巻き込み、最後には一目見ただけでまちのイメージが伝わる、そんなロゴデザインを目指します。



当社ではメディア・ユニバーサル・デザインの資格を持つデザイナーが常駐しています。

■啓発品の作成

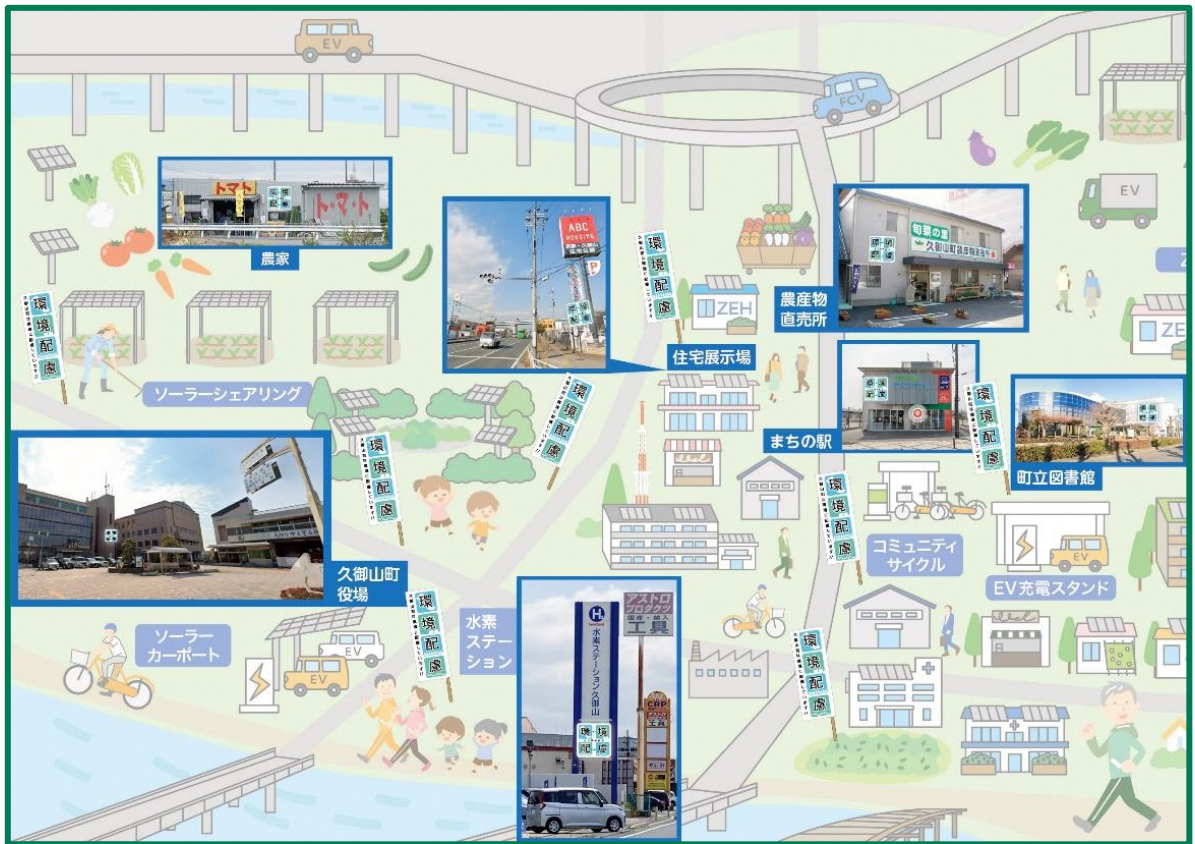
- のぼり 20 旗 ▶まちのあちこちで目にするのぼりをご提案します
- クリアケース 500 個 ▶各種ワークショップ等に参加された方の書類持ち帰り用として

■ロゴの活用方法

のぼりとともに、まちのあちこちで「統一したロゴ」を目にする機会を増やすことで、久御山町が環境配慮、脱炭素に取り組むまちであることを町内外にPRします。

今年度作成したロゴを、事業所や農業者にも協力してもらい、目にする機会づくりを進めます。また、そのことが、農業者や事業所にとっても相乗効果となるようすすめます。

■イメージマップ



■看板



■のぼり



※看板、のぼりのデザインはダミーです

② 環境基本計画（環境基本条例の内容を含む）の啓発冊子の作成

啓発冊子の構成については、小・中学校等での環境教育やワークショップ等で活用することを想定し、久御山町の環境に関する将来の姿がイメージでき、かつそこに至るまでにどのような事を実施するのかを分かりやすくまとめます。

- 仕様：A4サイズ、オールカラー、8ページ、1000部
- 活用用途：小中学校等での環境教育やワークショップ等で活用
- 構成案：
 - ・久御山町環境基本計画 将来像 将来のイメージ図
 - ・重点項目を分かりやすく可視化
 - ・住民サイドで実施していくこと

■啓発冊子他市町(見本)

<事例:姫路市環境学習用ノートと環境学習の出前教室>



当社作成の環境学習用ノート等を用いて、市内の小学校4～6年生を対象に講義や実験の実施

■脱炭素すごろく(見本)

<福知山市エネルギー環境すごろく(R4 年度福知山市エネルギー・環境基本計画策定時に作成)>



「エネルギー・環境基本計画」の策定とあわせて、若年層に対する環境啓発を進めるツールとしてゼロカーボンシティをゴールに見立てた「すごろく」を作成

③ ゼロカーボンシティ宣言に関する支援

他市町村事例を数件調査し、本町におけるゼロカーボンシティ宣言へ向けた情報提供を行います。

(4) 本業務のスケジュール（業務フロー）

業務遂行に当たっては ZOOM 等も活用し、定期的な進捗状況の確認ミーティングを行いながら、共通理解のもと進めてまいります。

令和5年度事業スケジュール

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ヒアリング調査 (事業者・農業者)	■							
シンポジウム開催			■					
ワークショップ実施						■		
環境学習（カードゲーム）実施			■ 事業者対象		■ 住民対象			
人材づくり				■				
PRロゴ・啓発品作成	■							
環境基本計画啓発冊子の作成	■							
ゼロカーボンシティ宣言に関する支援		■						

実績、体制

(1) 環境計画、プロモーション 実績

環境計画 実績

市町村名	業務名	実施年度
京都府久御山町	久御山町環境基本計画（地球温暖化区域施策編含む）策定業務	令和4年9月～ 令和5年8月
京都府福知山市	福知山市エネルギー・環境基本計画策定業務	令和4年7月～ 令和5年3月
大阪府島本町	島本町地球温暖化対策実行計画策定業務委託	令和3年6月～ 令和4年4月

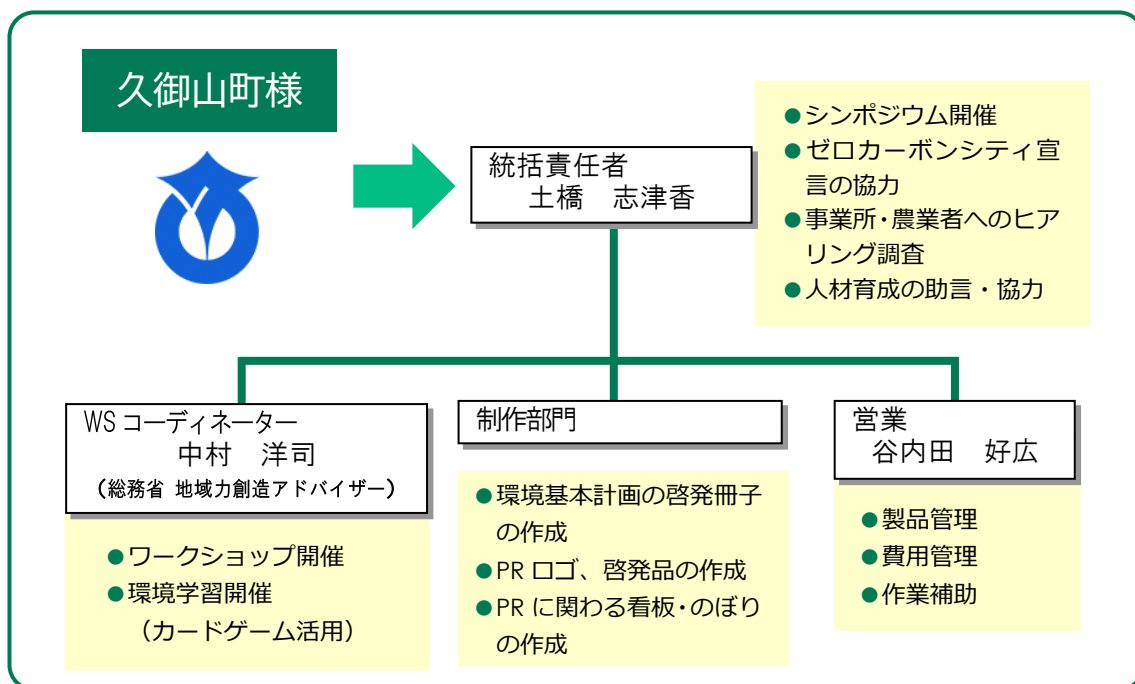
他

プロモーション 実績

市町村名	業務名	実施年度
兵庫県加西市	空がつなぐまち・ひとづくり交流プロモーション計画策定支援業務	平成30年12月～令和5年3月
東京都羽村市	シティプロモーション推進事業業務	令和4年11月～令和5年3月
和歌山県紀の川市	シティプロモーション推進業務	令和2年4月～令和3年3月
京都府長岡京市	シティプロモーション推進業務	平成28年12月～平成29年3月
兵庫県加西市	シティプロモーション推進業務	平成28年6月～平成29年3月

他

(2) 業務執行体制及び役割分担



【主要担当者】

氏名・所属・役職	本業務の主な役割	業務歴
土橋 志津香 地方創生推進室・部長	統括責任者 窓口 業務推進	環境基本計画 再エネ最大限導入計画策定 等
中村 洋司 地方創生推進室・プロダクトマネージャー	ワークショップの実施	環境基本計画 再エネ最大限導入計画策定 各種ワークショップの実施
谷内田 好広 関西南支局 支局長補佐	営業事務	各種プロモーション事業等